

事務事業名	防火水槽整備事業	所属部	防災部	所属課	くらし安全室
政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち《定住環境》	所属G	くらし安全G	課長名	室長 宮川勉
施策名	〈16〉消防・防災対策の推進	担当者名	佐々木良	電話番号	0854-40-1027
目的・対象	市民 意図 生命・財産を火災・災害から守る。			(内線)	2352
基本事業	〈047〉防火施設と消防体制の充実	予算科目	0:1450:3	事業名	消防施設整備事業
目的・対象	市民 意図 火災による被害にあわない。		0:5150:1	事業名	防火水槽整備事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
市民	防火施設の整備を推進し、適正に消防防災施設を利用できるようにする。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・自治会からの要望に基づき耐震性地下式防火水槽(40t級)を整備する事業。 ・地元分担金は工事費の5%以内。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
耐震性地下式貯水槽(40t級)整備 2か所 【設置場所】 大東町下佐世地区(潤谷) 1基 加茂町大西地区(北大西) 1基	・地元分担金を平成24年度に事業費の10%から5%に改定し、県の中山間地総合整備事業の負担と同程度とした。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 消火栓の数	基	957	959	963	965
イ 防火水槽の数	箇所	701	702	704	706
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
耐震性地下式貯水槽(40t級)	国庫支出金	千円				
大東町下佐世地区 1基 9,152千円	県支出金	千円				
分筆登記代 440千円	地方債	千円	17,100	7,900	17,800	18,000
加茂町大西地区 1基 9,242千円	その他	千円	984	419	941	950
(起債名:緊急防災・減災事業債)	一般財源	千円	1,617	65	93	50
	事業費計	千円	19,701	8,384	18,834	19,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・市内2か所に新たな地下式耐震性貯水槽(40t級)を整備し、消防水利の確保を行った。
② 事業実施するうえでの課題	・自治会等からの防火水槽の設置要望が逐次寄せられる。 ・近年、設置を希望される場所の条件が悪いところが多く、湧水処理など追加工事の発生により費用が増加する傾向にある。 ・設計業務等については他部局の技術職員の協力により対応しているが、円滑な事業推進を図る上では外部委託等も検討していく必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・防火水槽が設置できる場所の要件をあらためて周知するとともに、現地確認により設置が困難と判断される場合には設置場所の再検討を依頼している。 ・設置場所の調整にあたっては、地元消防団や消防署等にも見解を求めるなど、より適切な場所への設置を検討する。